

保健医療計画 進捗状況評価(5疾病6事業在宅以外)

○ 各指標の達成状況

＜評価基準＞
A：達成している B：概ね達成している C：やや達成が遅れている
D：達成が遅れている —：その他

項目	取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況	出典
					1年目	2年目	3年目		
第3節 保健医療を担う 人材の確保と 資質の向上	(医師) 取組 1－1 取組 1－2	医師少数区域（西多摩・南多摩・島しょ）における医師偏在指標	西多摩 138.1 南多摩 164.6 島しょ 131.6 （令和5年度）	上げる （参考：179.4以上）	—			—	厚生労働省が示す医師偏在指標
	(医師) 取組 2	東京都地域枠医師の離脱率	2.0% （令和5年度）	下げる	1.9% （令和6年度末）			A	医療人材課調べ

＜評価に当たっての目安＞
A：達成している
→策定時と比較して5%以上を目安に良い方に進んでいる。

B：概ね達成している
→策定時と比較して5%未満を目安として良い方に進んでいる。

C：やや達成が遅れている

D：達成が遅れている
→策定時と比較して後退している。

—：その他
→実績値が取れない等

《参考》
令和5年度(計画策定時)
離脱者累計数7名／貸与者累計343名

令和6年度
離脱者累計数7名／貸与者累計368名

保健医療計画 進捗状況評価(5疾病6事業在宅以外)

○ 事業実績

項目	東京都保健医療計画(令和6年3月改定)及び		事業名	事業概要	これまでの取組状況	令和6年度計画 (予算規模等)	国庫 負担
	課題	取組			令和6年度実績		
第3節 保健医療 を担う人 材の確保 と資質の 向上	医師＜課題 1＞ 医師確保計画に基づく医 師確保対策	(取組 1－1) 総合的な医師確保対策の 推進	○東京都地域医療対策協議会	医療従事者の安定的確保のため、医療関係者 や都民等からなる協議会で検討を進めています。	協議会 2回開催	協議会 2回開催	
			○東京都地域医療支援センター	東京都地域医療対策協議会が策定した方針に 基づき、医療機関における医師確保支援、奨 学金被貸与者のキャリア形成支援、医師確保 状況の実態把握、医師確保対策に関する情報 の発信など、都の特性を踏まえた医師確保対 策を推進していきます。	奨学金被貸与者のキャリア形成支援の ための各種取組の実施 (キャリア相談会、地域医療に関する 講義・ワークショップ、指定勤務説明 会、指定医療機関見学会)	9,978千円	
		(取組 1－2) 医師偏在の解消に向けた 取組の実施	○東京都地域医療医師奨学金	将来、都内の医師確保が必要な地域や診療科 等に医師として従事しようとする者に対し、 地域医療医師奨学金を貸与し、都内の医師の 確保が必要な地域や診療所等の医師の確保及 び質の向上に資する。	新規被貸与者数 特別貸与奨学金 25名 (順天堂大学10名、杏林大学10名、日 本医科大学5名)	863,762千円 (うち特別貸与貸付金 860,800千円) 148名(うち新規25名)	
			○東京都地域医療支援ドクター事業	多摩・島しょの公立病院等を支援し、地域の 医療体制を確保するため、医師不足が深刻な 公立病院等へ医師を一定期間派遣する。	採用3名 支援勤務 5名 研修 5名	募集人員 5名 支援勤務 7名 研修 7名 予算額 13,799千円	
			○自治医科大学によるへき地勤務医 師養成	自治医科大学の運営費負担、入学試験の実 施、卒業医師のへき地町村への派遣等を実施 します。	東京都 1～6年在籍数 14人	東京都 1～6年在籍数 14人	
	医師＜課題 2＞ 地域の実情に応じた医師 の育成・確保	(取組 2) 地域の実情に応じた医師 の育成・確保に関する取 組	○東京都地域医療医師奨学金《再 掲》	将来、都内の医師確保が必要な地域や診療科 等に医師として従事しようとする者に対し、 地域医療医師奨学金を貸与し、都内の医師の 確保が必要な地域や診療所等の医師の確保及 び質の向上に資する。	新規被貸与者数 特別貸与奨学金 25名 (順天堂大学10名、杏林大学10名、日 本医科大学5名)	863,762千円 (うち特別貸与貸付金 860,800千円) 148名(うち新規25名)	